

各 位

上場会社名	中央物産株式会社
代表者	代表取締役社長 児島誠一郎
(コード番号)	9852)
問合せ先責任者	専務取締役 原 幸男
(TEL)	03-3796-5075)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,000	80	310	180	14.67
今回発表予想(B)	67,406	59	438	231	19.11
増減額(B-A)	2,406	△20	128	51	——
増減率(%)	3.7	△25.3	41.5	28.6	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	60,108	58	260	107	8.80

修正の理由

1. 第2四半期連結累計期間の連結業績予想

当第2四半期連結累計期間における連結業績予想につきましては、売上高が株式会社システムトラスト、株式会社五色屋の子会社化と夏物商材が堅調に推移したことにより、前回予想65,000百万円に対して67,406百万円(2,406百万円増)となる見込みです。また営業利益は、システム統合費用、物流センター機能強化などの販売費用が一時的に増加したことにより、前回予想80百万円に対して59百万円(20百万円減)となる見込みです。経常利益につきましては、財務体質の改善により借入金利の削減や受取利息の増加等により、前回予想310百万円に対して438百万円(128百万円増)となる見込みです。以上により、四半期純利益は、前回予想180百万円に対して231百万円(51百万円増)となる見込みです。

2. 平成21年3月期通期業績予想(連結および個別)

平成21年3月期通期業績予想(連結)につきましては、依然として厳しい受注環境が続きますが、売上高の確保に努め、引き続き業務の効率化とコスト削減により、現時点で通期の予想数値を確保できる見込みであり、前回の予想数値については変更いたしません。平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期通期業績予想(個別)につきましては、第2四半期累計期間は順調に推移し予定通りでありました。また、通期につきましては連結と同様、現時点で通期の予想数値を確保できる見込みであり、予想数値について変更はいたしません。

(注)上述の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以 上